

令和6年度 北海道中学校体育大会 陸上競技大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表選手(チーム)の選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【陸上競技大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・こまめなアナウンスによる注意喚起（気象条件、水分補給など）
- ・タイムテーブルの工夫（長距離種目を最初と最後の方に実施）
- ・フィールド競技の待機場所にテントを設置し、日陰を確保
- ・3000mにおいては、状況により競技中に水分補給ができるよう準備
- ・1時間に1回のWBGT測定
- ・WBGTが31℃以上となった場合は、活動を一時中断し、以降の競技運営の見直しなどを検討

● 競技が進行できない場合の代表チーム（リレー競技）の選出方法

- ・大会自体が中止となった場合は、申込記録ランキング最上位のチームを代表とする。
- ・予選のみ行えた場合は、予選の記録の最上位チームを代表校とする。
- ・準決勝を行えた場合は、準決勝の記録の最上位チームを代表校とする。
- ・各ラウンドとも途中で中止となった場合は、それ以前のラウンドの結果により代表校を決める。